



味方の行動を援護する支援の宰相
ビショップ

助言者

難易度★★★★☆

系譜の特徴

助言者として他PCのサポートに回り、味方の魔術師の調査や捏造の手助けになる情報を集める役回りです。

調査から捏造まで幅広く対応でき、それらの情報を味方へと献上する一方、自分から仮説や推理を提唱しません。

自分自身から事件についてアイデアを出す必要がないだけに調査がシンプルですが、支援を適切に考えておこなう面白味も備え、初心者から熟練者まで幅広く楽しむことができる系譜です。

上級宣言には、自分以外の味方魔術師にとって調査や捏造を手助けしたり、他者の力をを利用する力があります。

上級宣言《パラサイトの摂理》は、味方を指定して、それに便乗して魔力を得られる助言者を象徴するような宣言魔法です。

上級宣言《第三の免罪符》は、自分以外の味方が作る幻想を真実へと変更するという強力な宣言魔法です。

権限魔法はさまざまな働き方をする効果が多く、決定打にならないかわりに、戦況に臨機応変に対応できる点が強みです。

【狡猾権限】は、色々な基礎的な権限魔法の効果から1つを選んで発揮でき、多彩な局面で活躍できます。

【奸智権限】も、妨害から支援まで、様々な効果から選んで発揮、【狡猾権限】と合わせて幅広い対応能力を持ちます。

【模倣権限】は、誰かが1度起動した権限魔法をコピーして発揮する効果で、癖が強い分、大きな可能性を秘めています。

系譜「助言者」には、自分で勝利を導けるほどの強力な効果はありませんが、バックアップが中心なだけに、重責を感じることなくプレイできることから、初心者でも楽しめる系譜もあります。

しかし、自分自身が決定打になることが少ないため、自分で活躍したいPLは、この系譜を選ぶ時、気をつけましょう。

サンプルキャラクター

...

愚弄の魔術師

リンツ・ヴオリノーカス

ヴオリノーカス家の性別不明の死靈魔術師。

どのようにして殺人事件を滑稽な筋書きに捻じ曲げるかについて独自の美学を持つ、魔術師社会の困った怪人物です。

人間社会への影響やプロジェクト目的などをそっちのけで、一番珍妙な論をエンディングにしてしまうことで知られています。

